

留 学 報 告 書

記入日:2020年9月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学研究科/史学専攻
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universität Wien
留学期間	2019年9月～2020年7月
留学した時の学年	博士後期課程3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	博士後期課程(特に学年は無し)年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年7月29日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:3月上旬～6月末 2 学期:10月初旬～2月末 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 94,000 万人
創立年	1365 年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料		約 50 万円	協定留学につき、明治大学大学院の授業料
宿舍費	約€6000 (月€520)	円	
食費	約€5,000	円	
図書費	約€1500	円	
学用品費	約€1000	円	
携帯・インターネット費	約€110	円	
現地交通費	約€300	円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約€800	円	
被服費	約€50	円	
医療費	0	0 円	
保険費	約€660	約 15 万円	形態:海外旅行保険(日本)+オーストリア国民保険
渡航旅費		約 25 万円	
ビザ申請費	約 20€	約 2 万円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約€16,000	約 90 万円	総計:250 万円程度

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:ウィーン・シュヴェヒャート空港 経由地:なし

復路 出発地:ウィーン・シュヴェヒャート空港 目的地:羽田空港 経由地:フランクフルト国際空港

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: _____

料金: _____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:ANA 料金:約 8 万円

復路 航空会社:Lufthansa/ ANA 料金:約 1 万 5 千円/約 14 万円 ∴合計:約 25 万円

航空券購入方法

旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:各航空会社 HP) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Donaubase) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 _____)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

インターネット

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

バス、トイレ、キッチン完備の完全個室(洗濯機のみ共有)だったので家賃は高かったが、快適に生活することができた。自分が理想とする留学生活に合わせて住居は選んだ方が良いと思う。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所: _____)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等:ビザ申請や銀行口座に関することを現地で知り合った現地在住日本人に相談した。 _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジで情報を収集していた。実際に犯罪には巻き込まれなかった。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮には Wifi は無かったため、有線 LAN を使ってほとんどの連絡を PC で行った。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

留学前に日本でキャッシュパスポートに登録して必要な金額をカードに振り込んでいき、現地で換金した。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし。電子レンジでパスタを茹でたり、米を炊いたりできるキッチン用品は重宝した。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
0(単位取得を前提としない留学形態のため)単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 少人数の授業は先着順だった	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Österreichische Geschichte II	オーストリア史 II
科目設置学部・研究科	歴史学部
履修期間	冬学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Maria Mensner
授業内容	オーストリア近現代史を「戦争」をキーワードにして解説。
試験・課題など	試験は任意
感想を自由記入	毎回のテーマをパワーポイントを用いて明らかにしていく授業だったので、ドイツ語が聞き取れない部分があっても補うことができた。講義の半分以上は、学生からの質問および討論。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Osteuropäische Geschichte	東ヨーロッパ史
科目設置学部・研究科	東ヨーロッパ史学科
履修期間	冬学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Kerstin Susanne Jobst
授業内容	ウクライナ、ベラルーシを中心とした東ヨーロッパの歴史を現代社会の問題と絡めて解説。
試験・課題など	試験は任意
感想を自由記入	授業の初めにその週の時事問題について討論する時間があつたため、新聞やニュース記事を読む勉強にもなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Einführung in die tschechische Areal- und Kultur Wissenschaft		チェコの地域・文化史	
科目設置学部・研究科	スラヴ学科		
履修期間	夏学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義/オンライン授業(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回		
担当教授	Marketa Schärz Pochzlova		
授業内容	毎回異なるテーマを設けてチェコの歴史や文化を解説。		
試験・課題など	試験は任意。		
感想を自由記入	パワーポイントや地図が分かりやすくて非常に楽しい授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Einführung in die ostslawische Areal- und Kultur Wissenschaft		東スラヴの地域・文化史	
科目設置学部・研究科	スラヴ学科		
履修期間	冬学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回		
担当教授	Andrej Zinkevich		
授業内容	現在のロシア、ベラルーシ、ウクライナを中心とした東スラヴ文化圏の歴史と文化を解説。		
試験・課題など	試験は任意。		
感想を自由記入	図や映像を多く活用していたので、自宅での学習も苦ではなかった。学生の大半がロシア語履修者だったため、講義中やパワーポイント無いにもロシア語が多くみられた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Neuere tschechische Liteatur im Überblick		新しいチェコ文学	
科目設置学部・研究科	スラヴ学科		
履修期間	夏学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Gertraude Zand		
授業内容	チェコ文学史を代表的な作家や社会的背景から解説。		
試験・課題など	課題: 参考文献リストの文献を読み、小テストに答える。		
感想を自由記入	少人数の授業だったため、自由に発言を求められる場面が多くあり、最も緊張感のある授業だった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	留学選考、出願。
2019年 1月～3月	3月～8月：語学学校に通う。
4月～7月	5月：ウィーン大学の教授から留学受け入れ許可を得る。 6月：日本で必要なビザ書類の手続き開始。住居探し開始。保険加入。航空券購入。 7月：ウィーン大学の留学担当者との連絡。
8月～9月	9月：留学開始…銀行口座開設、在留届申請、保険加入、入学手続き・学生証発行(現地大学事務)
10月～12月	10月：授業開始。在留届取得。 12月中旬～：クリスマス休暇。
2020年 1月～3月	3月：新型コロナウイルス流行のため、3週間程度の外出禁止。大学の授業もすべてオンライン授業に移行。
4月～7月	6月：航空券購入。 7月：退寮準備。銀行口座閉鎖手続き。帰国。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

約1年間の留學を終え、留學をする目的をしっかり持って準備をすることが重要だと思いました。私は大学院での自身の研究テーマをより深めるために協定留學プログラムに出願することを決めました。研究を軸にして準備を進めることで、住居探しや授業選択をスムーズに決めることが出来たと思います。ウィーン大学には多くの外国人留學生が在籍しているため、大学事務の方も先生方も非常に親身にやり取りをしてくださりました。また、同大学には日本学科があるため、日本語を勉強したい学生とのタンデムパートナーはすぐに見つけることができました。このような利点があったことも、留學先にウィーンを選んだ理由でした。

あいにく、留學の半分は新型コロナウイルスの影響を受けて、授業がすべてオンラインになり、数週間ほぼ住居から出られない生活を送ることになりましたが、その都度情報収集をして自分がとるべき行動を決めることができました。今回の件のように、留學中はトラブルが起きたり、前代未聞の状況に陥ることもあると思いますが、自分自身で目標を定め、準備をしっかりしていけばきっと乗り越えることができると思います。

理想の留學生活を実現するために、頑張ってください！